

大船渡市スポーツ推進計画中間見直し(案)及び大船渡市スポーツ施設整備基本計画中間見直し(案)に対する意見の概要及び市の考え方

No.	区分	意見の概要	市の考え方
1	【大船渡市スポーツ施設整備基本計画】 VII 主要施設の詳細検討 3 市営球場の建替再整備に係る検討について	大船渡市営球場を硬式野球ができる球場に改修するにあたっては、以下のことに配慮してほしい。 (1) ホームランの場合、ライト側下の道路、民家にボールが飛んで危険なため、ボールが飛ばない対策が必要。 (2) 末崎中学校グラウンドを駐車場にするには、14.5mの防球ネットではファールボールが越えると思われる。 (3) ファースト側の防球ネットは14.5mで足りるが、サード側は14.5mでは足りない。ファールボールが飛んだ時の人的、物的安全を図ること。 また、サード側の観客席の奥行きがないため、ファールボールが末崎中学校グラウンドに飛び込みやすいと予測される。 (4) レフトフェンス後方にも防球ネットが必要。 (5) 現市営球場には、本部、救護室、審判控室、放送記録室、身障者室、選手控室、トイレ、試合に係る注意事項を伝達する場所などがほしいが、これらを設置するスペースがないように思われる。 また、本部を末崎グラウンドに持っていくなどの案は、試合進行上好ましくない。 (6) 本部は、バックネット後方にあるのが望ましい。 審判と本部との協議のため、即座に話せる場所に位置していること。 (7) 管理棟を作る場合は、野球観戦で一番見やすく人気のあるバックネット裏の観客席の確保をしてほしい。	市営球場の改修箇所については、コンクリート躯体(ダッグアウト、放送室、スタンド)、スコアボード、防球ネット、照明設備、フェンス、クラブハウスの新設を想定しています。 また、硬式野球の大会ができるように整備することとし、学校統合後の末崎中学校校庭の活用も見据え、関係団体や地区と協議を行いながら、不足している附帯設備の整備について、計画期間後期で詳細に検討していきます。 いただいたご意見につきましては、今後の具体的な整備内容を検討する際の参考とさせていただきます。 (関連記述：計画本文 50、51 ページ)

2	【大船渡市スポーツ施設整備基本計画】 VII 主要施設の詳細検討 3 市営球場の建替再整備に係る検討について	昨年5月に、軟式野球に特化した球場の改修費用が17億円と示されたが、今回、硬式野球ができる球場の改修では10億円と減額になった。一般的に硬式野球の球場の方が整備費用は嵩むと思うが、何故減額になったのか費用の内訳を知りたい。	整備内容を精査し、フィールドの人工芝化をやめ、既存の天然芝を生かした改修に変更することで減額となったものです。 現在の天然芝は、平成29年に仮設住宅用地からの復旧工事により新たに整備したもので、この天然芝を有効活用した改修に変更するものです。 改修箇所は、コンクリート躯体（ダッグアウト、放送室、スタンド）、スコアボード、防球ネット、照明設備、フェンス、クラブハウスの新設を想定しています。 （関連記述：計画本文50ページ）
3		大船渡市野球協会は野球場の新設を希望しており、協会の意向について十分な審議や、計画への反映がされていないように思われる。野球場の整備なので、野球協会としっかりと連携をとりながら進めてほしい。	現市営球場の改修にあたっては、計画期間後期において、市野球協会や地区と連携を図りながら、整備内容の詳細な検討を進めていきます。 （関連記述：計画本文51ページ）
4		中途半端な施設とならないよう、時間がかかっても、安全上問題がなく、しっかりとした施設を作ってほしい。	競技者の安全や周辺環境対策を中心に、現市営球場の機能性の充実や利便性の向上に向け、計画期間後期において整備内容の詳細な検討を進めていきます。 （関連記述：計画本文50、51ページ）
5		野球場の新設には27億円掛かるとのことだが、住田町の野球場の規模であれば、もっと安価にできる可能性がある。近隣の野球場に足を運んで研究してほしい。	人口減少、少子化の進行や市の財政状況、他のスポーツ施設の老朽化を考慮すると、野球場と市民体育館の両方を新設することは極めて困難な状況と考えています。 また、新設の場合は、他自治体の事例を見ると、昨今の建設費の高騰などから、照明設備などの附帯設備が省略された簡素な野球場であっても、改修と比較して整備費用が高くなるが見込まれます。 （関連記述：計画本文47ページ）
6	【大船渡市スポーツ施設整備基本計画】 その他	※山林火災について 最優先にすべきことは、被災された方々への支援と復興であると考え。予定されていたスポーツ施設に係る予算を、最大限被災者支援と復興に充てて良いと考える。 スポーツ施設整備は、被災者の生活の目途が立ち、復興の方向が決まってからでも遅くはないと考える。	このたびの林野火災により、犠牲となられた方に哀悼の意を表するとともに、火災の影響を受けた方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。 市としましては、今後、一日でも早く平穏な生活を取り戻すよう、国・県等と連携しながら、火災による影響を受けた方々への各種支援に注力してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後計画を進めていく上での参考とさせていただきます。